

平成29年度 輸送の安全に関する目標についての評価

- [1] 重大事故はもちろん、軽微な事故についても発生ゼロを目指す
重大事故はなかったが、教育指導をしていたにも関わらず軽微な接触事故が前期より増加してしまった。来季は外部機関による教育指導に参加させ、専門官による指導を計画している。
- [2] アルコール検知ゼロ
検知ゼロを達成したが、担当車両以外での宿泊先到着時に、アルコール検知を行わないものが見られた。引き続き指導していく。
- [3] ヒヤリハット案件の情報収集と情報の共有に関する指導
ヒヤリハットの情報収集はゼロだった。来季は乗務員が情報の提供をしやすい環境をつくり、情報を共有することが安全にも繋がることを意識させ、情報収集に努める。
- [4] 外部機関による講習会を開催または参加し、安全意識や技術の向上を図る
乗務員の個々の性格に沿った専門教育の実施を来季は計画し、安全意識や技術の向上を図り、軽微な接触事故もゼロにしない。ならない。
- [5] ドライブレコーダー映像を利用した乗務員教育を実施し運転技術や危険予知能力の向上を図る
映像による指導は行なっているが、軽微な事故件数が増えている。
指導方法に工夫を凝らしながら、引き続き指導していく。
- [6] 乗務員標準化マニュアルを作成整備し、常時高度な顧客サービスを提供できるよう務める。
今季作成することができなかった為、来期は実行したい。